

「第2次福岡市食育推進計画」の策定について

(現行)「福岡市食育推進計画」(平成19年3月策定)

1 食育推進の基本理念

家庭、地域、学校、職場などとの連携のもと、子ども期からの基礎的な食習慣の確立を図るとともに、福岡の豊かな農林水産物の活用を通し、食の大切さへの理解を深めることにより豊かな人間形成を目指します。

2 食育推進の視点

福岡市の食の現状と特徴を踏まえ、食を通じて人と地域が育まれるよう次に掲げる3つの基本的な視点に立って食育に取り組みます。

- (1) 生涯を通じた健全な食生活の確立と実践
- (2) 食育を核とした地域コミュニティの活性化
- (3) 市民運動による食育の推進

3 具体的な施策の方向性

- (1) 家庭・地域における食育の推進
- (2) 学校・保育所等における食育の推進
- (3) 生産者と消費者との交流や農林漁業の活性化
- (4) 食文化の継承と国際交流
- (5) 食品の安全性確保と食生活に関する情報発信、調査研究

4 計画期間：平成18年度～平成22年度（5年間）

これまでの推進状況の評価とそれを踏まえた成果及び今後の課題

□ 推進状況の評価

◎福岡市食育推進会議（委員28名で構成）において、食育の推進状況について毎年評価。

□ これまでの成果

- ◎「福岡市食育推進計画」の下、食育は着実に推進
- ・計画の成果目標指標は改善しているものがほとんど。
 - ・食育に関心のある市民の割合は目標を上回った。
 - ・市民の食に関する知識及び食を選択する力の向上。

□ 今後の課題として考えられるもの

- ◎市、地域における関係者と更に連携し、地域・家庭主体での取り組みを推進する。
- ◎若い世代の食生活の改善
- ・朝食欠食は改善されつつあるものの、若者の街福岡市は全国の平均より低い状態。効果的な普及対策を考える。
 - ・子育て世代である30代について子どもも含め食育推進を強化。

<次期計画の考え方>

- ◎食育が着実に推進している現行の計画を基本的に踏襲する。
- ◎課題として浮かび上がった部分についてはより積極的に施策に盛り込む。

<次期計画の目標設定等>

- 現行目標の見直し ○新たな指標による目標の設定

<策定時期>

平成23年8月（予定）